

令和6年6月25日  
国土交通省関東地方整備局  
関東技術事務所

## 第8回出展技術発表会を開催します

～建設技術展示館に展示している最新の技術をご紹介します～

令和6年7月4日（木）から令和6年7月5日（金）の2日間、第8回出展技術発表会を開催します。

出展技術発表会は、建設技術者の方々を主な対象に、公共工事に係る技術者の知識習得及び技術の普及を図ることを目的とし、展示技術テーマ「防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術」「インフラ分野のDX技術」「インフラ分野の脱炭素化・GX技術」の3つのテーマを中心に展示技術を発表いただきます。そのほか、関東地方整備局、国土地理院、千葉県を取組紹介やICTアドバイザーによるICT施工の講演を行います。ぜひご来場ください。

- 日時：【1日目】令和6年7月4日（木）10時00分から15時30分まで  
【2日目】令和6年7月5日（金）10時00分から15時30分まで
- 会場：・関東技術事務所 建設技術展示館（千葉県松戸市五香西6-12-1）  
・オンライン配信（Microsoft Teamsによる配信）  
会場定員：各日80名、オンライン定員：各日220名
- 内容：出展技術発表 発表者：11者（詳細は別紙をご覧ください。）  
講演：7月4日（木）関東地方整備局「関東地方整備局のDXの取組について」  
国土地理院「測量技術を駆使した防災・減災対策や災害対応の取組」  
7月5日（金）ICTアドバイザー 日立建機日本株式会社「現場の声を未来の礎に」  
千葉県「生産性向上と担い手確保に向けた千葉県の取組」

### 4. 応募方法

聴講の応募方法は建設技術展示館ホームページよりご応募ください。ホームページは「建設技術展示館」で検索いただくか、別紙をご覧ください。本発表会はCPD、CPDSの認定を受ける予定です。

### 5. 取材について

取材についてはお手数ですが事前にご連絡いただけますようお願いいたします。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ 神奈川建設記者会 埼玉県政記者クラブ 横浜海事記者クラブ  
千葉県政記者会 松戸記者クラブ

<問い合わせ先>

関東地方整備局 関東技術事務所

電話：047-389-5121（代表）メールアドレス：ktr-tenzi-info@mlit.go.jp

副所長 菅 俊和（内線：791-205）

技術企画 人材育成課 技術情報管理官 角田 哲章（内線：791-303）

第**16**期 DX・i-Construction

# 建設技術展示館

参加無料

## 第**8**回 出展技術発表会

「防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術」「インフラ分野のDX技術」「インフラ分野の脱炭素化・GX技術」3つのテーマを中心に、出展技術の発表をおこないます

### TIME SCHEDULE

令和**6**年 **7**月**4**日(木)-**5**日(金)

10:00~15:30 (受付 9:15~) 10:00~15:30 (受付 9:15~)

会場

講演

関東技術事務所 建設技術展示館  
(千葉県松戸市五香西6-12-1) 各日80名  
オンライン配信(Microsoft Teamsによる配信)  
各日220名

**7**月**4**日(木)

「関東地方整備局のDXの取組について」  
関東地方整備局 企画部  
建設情報・施工高度化技術調整官 中島 淳

「測量技術を駆使した防災・減災対策や災害対応の取組」  
国土地理院 関東地方測量部  
次長 西城 祐輝

**CPD/CPDS 認定予定**

**7**月**5**日(金)

「生産性向上と担い手確保に向けた千葉県の取組」  
千葉県 県土整備部 技術管理課  
副課長 下木 豪

「現場の声を未来の礎に」  
ICTアドバイザー 日立建機日本株式会社  
ICT推進グループ 小山 聡之

CPD/CPDS継続教育プログラムの単位取得は事前申込が必要です。

申込期限 **令和6年6月28日(金)**

**12:00** まで 定員になり次第締切

申込方法

単位の取得希望の方は建設技術展示館HPの  
申込フォームより事前登録をお願いします。  
詳しくは建設技術展示HPをご覧ください。

会場とオンラインのハイブリッド開催

CPDSの単位取得については会場での聴講者のみとさせていただきます。ご容赦ください。

他団体へ申請される方は他団体のルールに従っていただきます。なお、他団体のルールや運営方法については対応し兼ねます。聴講者による録画・撮影等は一切禁止

【主催】



国土交通省 関東地方整備局  
関東技術事務所

DX・i-Construction

【賛助】



一般社団法人 関東地域づくり協会

Kanto Regional Management Service Association

建設技術展示館ホームページ  
<https://www.kense-te.jp/>



## TIME SCHEDULE

A技術:「防災・減災、国土強靱化、インフラ長寿命化技術」

B技術:「インフラ分野のDX技術」

C技術:「インフラ分野の脱炭素化・GX技術」

日程	順番	時間	技術 No.	出展者名	技術名
第8回 7月4日(木) 【建設技術展示館】& 【オンライン配信】 ハイブリッド	講	10:00~10:30	講演	関東地方整備局 企画部 建設情報・施工高度化技術調整官 中島 淳	「関東地方整備局のDXの取組について」
	1	10:30~11:00	A 09	株式会社技研製作所	防災・減災、国土強靱化に資する「インプラント工法」
	2	11:00~11:30	B 07	東洋建設株式会社	港湾における防災DX技術の推進
	3	11:30~12:00	A 10	オープンシールド協会	狭い場所でも水路の構築が可能な技術「オープンシールド工法」
	講	13:00~13:30	講演	国土地理院 関東地方測量部 次長 西城 祐輝	「測量技術を駆使した防災・減災対策や災害対応の取組」
	4	13:30~14:00	B 08	前田建設工業株式会社	ICT土工の品質管理を高度化する「次世代αシステム(仮称)」
7月5日(金) 【建設技術展示館】& 【オンライン配信】 ハイブリッド	5	14:10~14:40	A 11	株式会社エイコーエンジニアリング	スーパーマルチモール工法
	6	14:40~15:10	A 12	パワーブレンダー工法協会	上下均質な改良体を造成する地盤改良工法「パワーブレンダー工法」
	講	10:00~11:00	講演	ICTアドバイザー 日立建機日本株式会社 ICT推進グループ 小山 聡之	「現場の声を未来の礎に」
	7	11:00~11:30	B 10	株式会社オリエンタルコンサルタンツ	AIを用いた石礫の自動判読技術「グラッチェ」
	8	11:30~12:00	C 03	大成建設株式会社	脱炭素・GX・DX技術
	講	13:00~13:30	講演	千葉県 県土整備部 技術管理課 副課長 下木 豪	「生産性向上と担い手確保に向けた千葉県の取組」
	9	13:30~14:00	A 14	株式会社ガイアート 関東支店	災害から橋を守る「延長床版システムプレキャスト工法」
10	14:00~14:30	B 11	鉄建建設株式会社	コンクリート打設管理システム	
11	14:40~15:10	A 15	JFE建材株式会社	豪雨流木災害(J-HDスリット)・津波漂流物被害(津波バリアー)を防ぐ技術	

- 建設技術展示館は16:00まで閉館しておりますので、終了後はぜひご見学していただけますようお願いします。
- 構内に駐車場(無料)はございますが、極力公共交通機関でのご来場をお願いします。

# DX・i-Construction

発表技術の展示ブースは  
QRコードからCHECK



【交通】JR武蔵野線新八柱駅または新京成電鉄「建設技術展示館」下車徒歩2分

①東京 JR京葉線快速(武蔵野線直通) 新八柱 **バス**

②東京 JR山手線/上野 JR常磐線 松戸 新成線 八柱 **バス**

**バス** 牧の原団地行 約8分 建設技術展示館 徒歩2分 建設技術展示館

お問い合わせ 〒270-2218千葉県松戸市五香西6-12-1  
国土交通省 関東地方整備局 関東技術事務所  
建設技術展示館事務局  
[mail] contact@kense-te.jp  
[H P] https://www.kense-te.jp/